

kowa
International

幅もワイドに
1200mm

自由に切れる
10m
ロングタイプ



コーワライティングシート

いつでもどこでも 場所を選ばず!!

静電気でもどこにでもピッタリ貼り付き、きれいにはがせる。
シートを貼れば、どこでも会議室に早変わり。
あなたのアイデア次第で用途が果てしなく広がる!!

大判タイプでも
持ち運び便利!
好きな長さに切って
使用できる!!

使用例

1 デスクに固定し、地図などに上書きできる!



ウェットティッシュで
きれいに消せて後残りなし!!

使用例

2 どんなカベにもピッタリ貼り付く!
2枚重ねれば上書きも可能に!!



凹凸のあるカベや板カベでも
あっという間に会議室に変身!!

使用例

3 車両のボディに貼れば
一瞬にして本部が設営できる!!



大判サイズで好きな長さに切れるから
用途は多彩、あなたの工夫次第!!

※ 風の強い日などマスキングテープの
使用が必要になる場合があります

商品に関するお問い合わせ・お見積もりは:

株式会社 光和インターナショナル

東京都港区西新橋 3-23-5 御成門郵船ビルディング 12階

担当: 事業企画・推進部 引野(ひきの)

電話: 03-5777-4478 FAX: 03-5777-4475

e-mail: hikino@kowacorp.jp

会社URL <http://www.kowacorp.jp>

どこでも貼れるシートで 作業効率が大幅にUPする!?

大判タイプが発売され、さらに使い勝手がよくなった!!

取材・文 権藤 海裕

東京消防庁、東日本大震災での自衛隊災害本部、DMAT（災害時医療派遣チーム）などで正式採用され、災害現場における実用性が注目されている「コーワライティングシート」。今回は、茨城県稲敷広域消防本部龍ヶ崎消防署のご協力を得て、現場の声を検証した。

実際に使ってみないことには、なかなかその利便性がわかりにくい商品なので、メーカーの光和インターナショナルの細貝和則社長と引野幸治事業推進部長らが隊員たちに商品説明を行い、現場を想定して使用してもらった。

現場の要望に応え、大判サイズが登場!! 災害現場をさらに効率よくサポートする

コーワライティングシートは、その名のごとくその上から書き込みが可能なシート。その形状は、大きな厚手のサララップをイメージしていただくといいだろう。

コーワライティングシートを2色セットで 常備している東京消防庁傘下の消防署

1 丸の内消防署	32 豊島消防署	63 昭島消防署
2 麹町消防署	33 池袋消防署	64 調布消防署
3 神田消防署	34 王子消防署	65 小金井消防署
4 京橋消防署	35 赤羽消防署	66 小平消防署
5 日本橋消防署	36 滝野川消防署	67 東村山消防署
6 臨港消防署	37 板橋消防署	68 国分寺消防署
7 芝消防署	38 志村消防署	69 狛江消防署
8 麻布消防署	39 練馬消防署	70 北多摩西部消防署
9 赤坂消防署	40 光が丘消防署	71 清瀬消防署
10 高輪消防署	41 石神井消防署	72 東久留米消防署
11 品川消防署	42 上野消防署	73 西東京消防署
12 大井消防署	43 浅草消防署	74 八王子消防署
13 荏原消防署	44 日本堤消防署	75 青梅消防署
14 大森消防署	45 荒川消防署	76 町田消防署
15 田園調布消防署	46 尾久消防署	77 日野消防署
16 蒲田消防署	47 千住消防署	78 福生消防署
17 矢口消防署	48 足立消防署	79 多摩消防署
18 目黒消防署	49 西新井消防署	80 秋川消防署
19 世田谷消防署	50 本所消防署	81 奥多摩消防署
20 玉川消防署	51 向島消防署	82 第一消防方面本部
21 成城消防署	52 深川消防署	83 第二消防方面本部
22 渋谷消防署	53 城東消防署	84 第三消防方面本部
23 四谷消防署	54 本田消防署	85 第四消防方面本部
24 牛込消防署	55 全町消防署	86 第五消防方面本部
25 新宿消防署	56 江戸川消防署	87 第六消防方面本部
26 中野消防署	57 葛西消防署	88 第七消防方面本部
27 野方消防署	58 小岩消防署	89 第八消防方面本部
28 杉並消防署	59 立川消防署	90 第九消防方面本部
29 荻窪消防署	60 武蔵野消防署	91 第十消防方面本部
30 小石川消防署	61 三鷹消防署	92 警防課
31 本郷消防署	62 府中消防署	

※注) 上記以外にも、全国の多くの消防本部・消防署で既にご活用いただいております



作戦会議を行う坂本操副署長、羽成翔隊員、棹台強介隊員

従来の幅600×長さ800mm（25枚分）に加え、現場の要望に応え、自由な長さにカットできる幅1200mm×長さ10mの大判サイズが新たに加わったことで、今まで以上に使い勝手が高まったとの声も多く聞かれる。それぞれ透明タイプと白タイプの2種類がある。ホワイトボードマーカーを使用してシートに書き込み、ウェットティッシュを使って簡単に消すことができる。

水で消えてしまう恐れがある場合、油性ペンで記入しても裏写りしない。夜間や冬場の結露を気にせずを使用することが可能になる。

シートはポリプロピレン製のロール状であるため、大きなサイズでもかさ張らずに持ち運びが便利。素材が柔らかいため、白く折り目がついてしまうこともない。

そして、何と言っても最大のメリットは、固定するためのピンやテープが不要なこと。このシートは静電気を利用することで、垂直面にシートを貼れるだけでなく、地図を挟んでカベに貼付することも可能なのだ。

地図上からの書き込みはもちろん 貼り付けたままの移動も可能

商品説明を終え、まず災害時の署内での指揮板で使用してみた。通常は地図の上に透明プラスチック板を乗せ、その上から必要な項目を書き込んでいく。これを透明タイプのコーワライティングシートに替えて実演してもらった。一見、従来の方法と大差ないようであるが、プラスチックの場合は、書き込んだ内容を消さずに長時間放置してお



カベに貼った白シートの上から地図を押さえるだけで固定できる

さらに透明シートを上から貼ることで書き込みが可能に

凹凸のあるクロス地のカベにも簡単に貼りつけられる

実際に使ってみた職員の方々の感想

龍ヶ崎消防署副署長・坂本操消防司令長

どこにでも貼れて、軽量で利便性があるって使いやすいの
がいいと思います。また、指揮隊で情報を書いた後に後残り
せずに、きれいに消せるところが気に入りました。

また、現場ではスペースがないことが多く、大きな地図
を使うのが困難でしたが、車両のボディを使うことで今ま
でできなかったことが可能になるというポテンシャルを
感じます。

広域火災や大規模な災害などでは、地図の使用が非常に
重要になります。また、どこにでも貼って、裏写りを気に
せずにホワイトボード代わりに書き込むことができるため、
使い方次第で指揮系統には非常に役立つのではないで
しょうか。準備時間を削減できると同時に、実際に地図を
使うことで、より具体的な指示ができ、隊員間の情報共有
やコミュニケーションにも役立つと思います。

高度救助隊・丘野敬介隊長

緊迫した災害現場で迅速に指揮板が用意できる点が非
常に便利だと思います。以前、試しに磁気ボードを車両
貼ってみたのですが、ボードよりも運びやすいのはもち
ろん、長い幅がとれる大きさ的なメリットがあると思
います。実際に使用する地図の大きさは同じですが、現場
では自分たちで図を書いたりもすることもあるので、自
由に書き込める面が大きいほど、使い勝手はよくなる
と思います。

高度救助隊・大野裕亮隊員

ホワイトボードの代わりにするのがいいと思います。
以前にサランラップを使用してみましたが、車両にうま
くつかなくなったり、切れてしまったり。また、油性ペ
ンを使っても裏写りしないので、雨対策にもいいのでは
ないでしょうか。通常、ホワイトボードを3枚持って行く
ので、白タイプも現場では非常に実用的だと感じました。

くと、色が染み込んで消えなくなってしまうのに対して、
この商品の場合は、ウェットティッシュを使えば、きれい
に消すことができる。

さらに、静電気で地図が密着しているため、そのまま地
図を別の場所に運んで、カベなどの垂直面に掲げること
もできる利便性も兼ね備えている。

垂直面にも貼り付けられるから 廊下のカベが一瞬で作戦本部に変身する

このシートのメリットは、静電気を使って貼着させるた
め、凹凸のあるクロス張りのカベにでも、ファブリック製
(生地)のパーティションにでも使えること。白タイプを
使えば、どんなカベでもホワイトボードに早変わりする。

驚くことに、カベに白シートを1枚貼り、その上に地図
を被せると、手で押さえていなくても地図が落ちないの
だ。その上から透明シートを重ねれば、机に地図を広げな
くとも作戦会議ができるようになる。

どんなカベでもピンやテープを使わず固定できるため、
カベに傷をつける心配が無用なのも嬉しいところだ。

消防車両のボディに貼ることで、 省スペースかつ迅速な本部設営が可能に

垂直面に固定できるメリットは、災害現場にも応用でき
る。狭い路地などスペースのない現場であっても、車のボ
ディに貼着させることで、消防車両を対策本部とすること
ができる。本部接地の手間が省けると同時に、より迅速な
対応が可能になる利便性も期待される。

ただし、静電気で密着させているだけなので、風に弱い
というデメリットがあるのも事実。外で使用する場合は、
隙間から風が入らないように、あらかじめマスキングテ
ープなどを準備しておくことが大切だ。

〈商品お問い合わせ先〉

株式会社 光和インターナショナル

東京都港区西新橋 3-23-5 御成門郵船ビルディング 12 階
担当者：事業企画・推進部 引野（ひきの）
電話：03-5777-4478 FAX：03-5777-4475
e-mail：hikino@kowacorp.jp
会社 URL http://www.kowacorp.jp